

単元名 衣服の選択と手入れ

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 衣服の社会生活との関わり、目的に応じた着用、選択、手入れに必要な、基礎的・基本的な事項を理解しているとともに適切にできる。
 (2) 衣服の選択や日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。
 (3) よりよい衣生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

標準的な展開

15290105_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 自分の衣生活を振り返り、学習課題をつかむ。 ★衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考えながら、衣服の働きをまとめよう。 ○自分の衣生活を振り返る。</p> <p>○衣服の働きを調べ、目的に応じた衣服の着用の仕方をまとめ。 ・社会生活上の働き ・T. P. O. に応じた着方 ・環境に配慮した着方</p> <p>2 自分らしい着方を工夫する。 ★個性を生かした服装について知り、自分らしい着方を考えよう。 ○自分らしい着方を考える。 ・色、柄、襟の形 ・My コーディネイト</p> <p>○グループで発表し合う。</p> <p>3 日本の衣文化を調べる。 ★日本の伝統的な衣文化について知ろう。 ○日本の伝統的な衣文化について知る。 ・文化 ・T. P. O.</p> <p>○和服と洋服 ・構成 ・着方 ・たたみ方</p> <p>4 衣服計画と必要な衣服の選択について考える。 ★衣服計画を立てよう。</p> <p>○衣服計画の立て方を知る。 ○着ていない衣服の活用方法を考える。 ・リフォーム ・リユース</p> <p>5 衣服の選択の仕方を調べる。 ★既製服を適切に選ぼう。 ○手持ちの衣服の活用を考えながら、表示や縫製の良否、手入れの方法や価格など、既製服の適切な選択方法を知る。 ・予算 ・手持ちの服との組み合わせ ・品質チェック ・購入場所 ・表示 ・試着のポイント</p> <p>○既製服の表示について調べる。 ・サイズ表示 ・取り扱い表示 ・組成表示 ・原産国表示</p> <p>○採寸の仕方について知る。</p>	<p>・目的に応じて衣服の着方が違う点に着目させ衣服の社会生活上の働きを考えさせる。</p> <p>・自分が衣生活にどのように関わっているかを確認させ、その話し合いを基に学習課題につなげるようにする。</p> <p>・小学校で学習した保健衛生上の働きと生活活動上の働きを確認し、目的に応じて衣服の着方が違う点に着目させ、衣服には社会生活上の働きがあることを理解させる。 【評】衣服と社会生活との関わりを考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・色や形などの調和や自分らしさを考えた着方を工夫させる。</p> <p>・コンピュータを活用して衣服の組み合わせの工夫をさせたり、流行についての話し合いをさせたりするとより効果的な学習が期待できる。 【評】自分らしい着方を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p> <p>【評】自分らしい着方について発表する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・和服の構成やたたみ方から、和服の特徴や文化について理解させる。</p> <p>・和服と社会生活との関わりについて、和服を着る場面を考えさせるなどして理解させ、衣文化の継承について考えられるようにする。</p> <p>・実際に浴衣などの和服を見せたり、着装をさせたりして洋服との比較ができるようにする</p> <p>【評】日本の伝統的な衣文化について考える活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・衣服の入手については購入するだけでなく、環境に配慮する視点から、譲り受けたり、リフォームしたりする方法にも触れる。</p> <p>・衣服調べをして必要な衣服の数量を把握し、過不足や処分の方法を考えさせ、計画的な活用の必要性に気付かせる。</p> <p>・よく着るものとあまり着ないものについて、それぞれ理由を話し合わせる。 【評】衣服の計画的な活用を考える活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・衣服を自分で管理することの大切さを知らせ既製服の適切な選択方法を理解させる。</p> <p>・表示を理解して衣服の選択に生かせるようにする。</p> <p>【評】衣服の選択方法を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

6～7 衣服の手入れをする。

★衣服の適切な手入れをしよう。

○手入れの必要性を考える。

○衣服材料と手入れの方法について知る。

- ・洗濯機による洗濯
- ・まつり縫いによる裾上げ
- ・ミシンによるほころび直し
- ・収納の方法
- ・ブラシかけ
- ・スナップ付け
- ・アイロンかけ

○衣服材料や汚れ、状態に応じた日常着の洗濯や補修の実習をする。

- ・衣服を快適に着用するために、手入れが必要であることに気付かせ、手入れの実習をさせる。
- ・洗濯については、手洗いを基礎とし、洗濯機を適切に活用できるようにする。
- ・主として洗濯と補修を扱うようにする。
- ・日常着の手入れについては、自分の衣服の素材に適した方法を考えられるようにする。
- ・洗濯については、環境に配慮した水や洗剤の適切な使い方を考えさせるなど、循環型社会への関心が深まるようにする。

・しみ抜きやまつり縫いなど、衣服の補修に必要な実習ができるようにする。

【評】衣服材料や汚れに応じた洗濯や、状態に応じた補修をする活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】